

## 紅麴による健康被害に関して

2024年4月

日本東洋医学会  
医療安全委員会

紅麴を材料とした小林製薬社製の健康食品「紅麴コレステヘルプ」などによる腎毒性が問題となり、同社の紅麴関連製品が自主回収されています。紅麴とは、カビの一種である紅麴菌を米などの原材料中で繁殖させた発酵食品のことで、伝統的には中国の紅酒、紅腐乳、沖縄の豆腐ようなどに使用されます。問題となっている健康食品は、紅麴菌と米を原材料とした紅麴です。日本で医薬品として発売されている一般用および医療用漢方製剤に紅麴を使用したものはいっさいありません。一部の漢方製剤（半夏白朮天麻湯など）に神麴（シンキク）という麴が使用されていますが、紅麴菌由来ではなく、種の異なる酵母菌由来であり、安全性に問題はありません。

現段階で「紅麴コレステヘルプ」による腎毒性の正確な原因はわかっていません。日本における一般用および医療用漢方製剤は、厳格な安全性チェックが行われており、腎毒性は報告されていませんので安心してご使用ください。

以上